

だいせんの偉人先人たち

はな つ や さかえ
花 津 谷 栄

【 分 類 】 きょういく
教育

【 生没年 】 1821年 ~ 1886年
(ぶんせい 文政4年) (めいじ 明治19年)



花津谷家は江戸から明治の初めにかけて「客林山常覚院」という「修験寺」であり、代々教育者が跡を継いで出ている教育一家であった。寺子屋を始めたのはいつからかはっきりしていないが、第9代衆愛（1782～1847）の頃からのようである。祖父衆愛が亡くなり、1847年にあとを継いだ時から1873年（明治6年）新しい制度の学校ができるまで栄が寺子屋教育に打ち込んだ。豊川、豊岡、長野、横浜、白岩に及ぶ広範囲から150名もの寺子（学生）が通い、教え子は30年弱で1000名を超え、教えを請われればだれに対してもに親切丁寧に分かるように教えたため、多くの人々に慕われた。

出典 『先人の歩み下』1980、大曲市仙北郡校長会／編